

南信濃まちづくり通信

第72号 令和4年4月号 2022年4月14日発行

発行：南信濃まちづくり委員会
編集：まちづくり委員会総務部会
事務局：南信濃自治振興センター
TEL 34-5111

あなたの力を貸して下さい！ 南信濃地域福祉プロジェクトへ

「地域福祉プロジェクト」は、平成25年にまちづくり委員会の特別委員会の位置づけで、20名の地域住民で立ち上げられました。

南信濃地区の65歳以上の割合は61%（令和3年現在）で、飯田市内で一番高齢化率が高く、また、人口の約4割が1人暮らし世帯であり、65歳以上の6割弱が1人か夫婦のみの世帯です。

そんな状況の中で、

「地域住民が主体となって活動する」

「地域内の見守り・支え合いの意識を高める」

「地域課題を拾い出し、解決できることは、地域で解決する」

などを合言葉に、現在9名で活動を行ってきました。

—主な活動—

- ☆ 「安心メモ」配布事業
..... 支え合いのシンボル。もしもの時の連絡先
- ☆ サロンきらく会の開催
..... 月1回のお楽しみ会
- ☆ 声かけカレンダー作り
..... 声をかけあう運動のシンボル
- ☆ 足の確保の研究
..... 交通弱者対策解消に向けて
- ☆ 年間5～6回の会議（主に平日昼間の開催）

しかし、昨今のコロナウイルス感染症の流行や、設立当初の会員の高齢化による著しい“マンパワー不足”で活動自体が滞りがちになっています。

この活動を続けていくためにも、ぜひ力を貸してください。

会議には出られないけど、難しいこともよくわからないけど、サロンきらく会の運営だけならお手伝いできるに！という方も大募集中です。

ここで暮らす遠山家族

お問い合わせ
地域福祉プロジェクト事務局
野牧 電話 34-5111

地区の話題

～南和田地区～

『南和田に移住して』

2月下旬に妻と二人で南和田に引っ越してきた星と申します。我々夫婦は遠山の自然と雰囲気が気に入り神奈川県からやってまいりました。神奈川県は遠山と比べると温暖な気候で、買い物や交通の便などでも不自由することはなかったのですが、都会的な暮らしよりも野菜を育てたり山に登る方が好きだったり、人が多い場所よりも静かに過ごせる場所が好きだったりして、いつかそういった土地に移住したいなと思っていました。

ただ、当時私はお仏壇やお墓の販売業に従事していて、それ以外に能がない人間なので、三十代半ばの今それを辞めて、妻（と猫）を養っていけるか不安でした。そんなタイミングで友人がインターネットでできる仕事を紹介してくれ、その現金収入と畑で作る野菜で暮らしていけるかもしれないと思ったのが一つの契機でした。

とはいえ移住の決断ができないまま候補地を見て回る状態が数年続きましたが、後押しをしてくれたのは和田にあるゲストハウス太陽堂のオーナーである水戸さんご夫妻でした。水戸さんご夫妻から夕食をとりながら遠山の良いところはもちろん、都会とのギャップを感じるころや不便なところもざっくばらんに伺いました。生まれも育ちも神奈川県で、本当にそのギャップを埋めて生活していけるのか不安でしたし、心配してくれる人もいましたが、それを上回る魅力が遠山にはありました。雄大な自然に神仏を重んじる風土、会う人会う人慈悲深く、「本当の普通の暮らし」というのがここにはあると思い、移住を決断しました。

今後は今の住まいを譲ってくれた方の想いも大切に、優しいご近所さんのお力も借りつつ、野菜の耕作やお茶作りにもチャレンジしていきたいと思います。妻は自宅や別会場でヨガ教室を運営していくので、地域の方々に健康と楽しみも提供していけたらと思います。



南和田（名古屋山第2） 星 翔志
恵理

～ 南信濃駐在所より ～

この4月に、3年間お世話になった本田さんが塩尻署に異動となり、新しく堀江さんが来ら

れました。お二人に一言ずつ頂きましたので、ご紹介させていただきます。

【前任者：本田圭祐さん】



皆さんこんにちは。元南信濃駐在所の本田です。

「元」って言うのが少し違和感がある感じがしますが、皆さんがこの記事をご覧になる時は、私は後任の堀江巡査部長にバトンを渡し、次の任地である塩尻署で働いています。

遠山に来て3年、長いようで短い3年間でしたが、4月で10周年を迎える私の警察官人生の中で、一番中身の濃い3年間であり、一番強烈な印象を受けました。もちろんいい意味で。

初めての駐在所勤務、当時相方として勤務していた濱からいろいろと教えてもらい、見るものや聞く話、全てが新鮮で驚きの連続であった1年目、二人制から一人制となり、この広大な南信濃全域を受け持つ事になった2年目、この地区についてある程度把握ができ、皆さんの顔や名前、車のナンバー、さらには家族の飼犬まで覚えてしまった3年目、どの年もいろいろありましたが、本当にいい思い出となりました。

妻や子ども達も、保育園の保護者を中心に大変よくしていただき、ありがとうございました。子ども達もすっかり遠山の子供らしく、元気よく（というより騒がしい）健やかに育ちました。

山に囲まれた自然豊かで静かな環境の中で、釣りやジビエ料理、燻製作り等様々な事に挑戦できた事、そして本田といえば「霜月祭り」と自分でも豪語するほど霜月祭りを好きになり、太鼓の音で血が騒ぐようになったのも、この駐在所に私が来なかったら、そして皆さんのウエルカムな住民性がなかったら実現しなかったと思います。本当にいい経験をさせていただきありがとうございました。

皆さんもお体に気をつけて、健やかに過ごされる事を心からお祈り申し上げます。それではまた、12月に4つの神社のどこかでお会いできる事を祈って別れの挨拶とさせていただきます。3年間ありがとうございました。

【後任者：堀江惇司さん】



はじめまして、南信濃駐在所の堀江惇司（ほりえ あつし）です。

今年3月に長野市から異動してまいりました。

ちょうど7年前に諏訪警察署で勤務していたこともあり、今年度南信濃で行われる御柱の年にこちらに異動になったのも何かの縁ではないかと感じています。

家族は妻と4才の長女、2才の次女の4人家族です。

仕事柄異動はつきものですので、子ども達の様子が気になっていましたが、引っ越し当初から和田保育園に毎日のように遊びに行き、裸足でのびのびと遊ぶ姿にとっても安心しました。

また地元の皆様からたくさん声を掛けていただき、とても嬉しかったです。

子ども達と毎日楽しく過ごしています。

これから南信濃のことをもっとよく知り、たくさんの方と関わり、地元の皆様が安心して安全な生活を送れるよう努力していきたいと思っています。

家族皆で南信濃での生活を楽しまたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひします。

「御柱祭りを終えて」

式年御柱大祭が4月3日盛大に挙行することができました。空模様は時々小雨となり、花冷えも加わる中でも、多くの参加者の熱意みなぎる里曳となりました。

私ども氏子総代として、初めて御柱祭りに携わり、更にはコロナ禍という状況にあって手探り状態で至らぬ点多々ありましたが、関係者各位や地域の皆様から、ご支援ご協力を賜り、感謝と御礼を申し上げます。



御柱祭りによって、久しぶりに地域が一つになり活気づき、うれしく思いましたが、その一方で町内の人口減や高齢化が顕著で、年を追うごとに無理が利かなくなるなど、今後の御柱祭りへの不安も若干感じています。

しかしながら、明治17年から138年間続いてきた御柱祭、これからも、その時代や地域の状況に即した形に変わりながら、伝統が受け継がれていけばと思います。

最後に皆様の益々のご繁栄とご多幸をご祈念申し上げ、御礼の言葉とさせていただきます。

和田諏訪神社氏子総代会長 近藤知典

令和4年度 自治振興センター職員の人事異動について

(転出)

遠山郷振興担当主幹 本島 秀勇 (1年間)

教育委員会出向 (生涯学習・スポーツ課長補佐兼社会教育係長) へ

南信濃自治振興センター (保健課南信濃担当) 久保田 薫 (2年間)

県自治振興センター勤務 (保健課担当) へ

(転入)

遠山郷観光振興室長 堤 幹雄

生涯学習・スポーツ課 (課長補佐) から

南信濃自治振興センター (保健課南信濃担当) 今村早也香

千代自治振興センター (保健課千代担当) から

※4月から市役所の組織が変わり、観光課遠山郷観光振興係から遠山郷観光振興室となり事務所がアンバマイ館から自治振興センターへ移転となりました。

持続可能な地域をめざして～やまざと親子留学のご家族、 移住された皆さんをお迎えしました～

4月2日の土曜日に御柱祭前日にヨイヨイ祭りが学習交流センター前で開催され、地区内外から多くの皆さんが来場されました。

ヨイヨイ祭りの中では移住定住をテーマとしたコーナーもあり、和田小学校の皆さんによる人形劇の披露などもいただきました。

また、4月よりスタートします「やまざと親子留学」のご家族3世帯、移住された皆さん、新しく南信濃に赴任された駐在さんご家族の紹介もさせていただきました。

南信濃 1500 委員会の牧島会長からは「移住定住された皆さんが気持ちよくこの遠山郷で暮らせますように、地域の皆さんのさらなるご理解、ご支援をいただきながら持続可能な南信濃、遠山郷を皆で作りに行ってほしい」とのお話がありました。

持続可能な地域をめざし取り組む合言葉は「遠山家族」！

地域の皆さんと移住された皆さんとが互いに助け合いよりよい地域にしようと決意を新たにしました。



5,6月のおでカフェ開催のお知らせ

～認知症の人や介護者が気軽に立ち寄れる憩いの場～

<開催日、開催場所> 毎月第2水曜日

5/11 上町コミュニティーセンターにて開催 6/8 南信濃地域交流センターにて開催

<時間> 10時00～11時30分 <持ち物> 飲み物代として一人100円

お気軽にお問い合わせください。

南信濃自治振興センター：TEL 34-5111

南信濃地域包括支援センター：TEL 34-1066

とおやま福祉検討会
南信濃まちづくり委員会



～ 新人紹介 ～

今年4月より、飯伊森林組合東部支所に新しく2名の方が来られましたので、ご紹介させていただきます。

【水野 透さん】



はじめまして！去年の11月末に森林組合様を介して南信濃を知り、インターンという形で神奈川県から参りました水野 透（みずの とおる）と申します。

元々、自然豊かな場所（主に風景）が好きで関東の山間部に住んでいたり、バイクが好きなのもあってキャンプツーリングなどもしていました。南信濃より生息数は少ないと思いますが、家の玄関に成獣の猪が待ち構えていたり、ウリボウもよく道端に歩いていたので生活環境については「劇的に変わった！」とは感じていませ

ん。

引っ越しした時期が冬季と言うこともあり、人々の流れや動きが少ない状況ではありますが、段々と暖かくなってきましたので春・夏・秋と四季折々の南信濃を今から楽しみにしています。

右も左も分からない若輩者ではありますが、仕事やプライベートに関わらず、南信濃の発展に微力ながら貢献（行事の参加や誘致など）できるよう努めてまいります。

【村田創羽さん】



はじめまして、私は村田創羽（むらた つくば）と申します。

軽井沢からこちらへ来ました。

遠山郷は、民族的にも貴重な祭りが多く、非常に興味深いと思います。

よろしくお願ひします。

●南信濃地区の人口（令和4年3月末現在）

人口 1,233人（対先月比+2）

男 573人（対先月比±0） 女 660人（対先月比+2）

世帯数 652世帯（対先月比±0）

※住民登録人口（住民基本台帳法改正により外国人含む）

●お知らせ

令和4年度まちづくり委員会・自主防災会定期総会の開催について

令和4年度のまちづくり委員会・自主防災会の定期総会を次の日程で開催する予定です。自治会長の皆様のご出席をお願いします。

- ・日時 令和4年4月28日(木曜日)午後6時30分から
- ・会場 南信濃地域交流センター会議室
- ・内容 令和3年度事業報告、決算報告について
令和4年度事業計画(案)、予算(案)について
自主防災会について ほか

交通安全施設整備事業について

市危機管理部では、市道等に設置されている交通安全施設の維持管理を行っています。

- ・道路反射鏡、注意喚起等の看板、通学路グリーンベルト、「通学路」「速度注意」等の路面標示の新設及び修繕です。ガードレール、中央線及び外側線(=路側帯)の修繕は、土木課が対応します。「飯田市改良補修箇所等報告書」で土木課に要望していただきます。
- ・国道や県道上の安全施設は、国交省や飯田建設事務所が設置管理しています。国道や県道への安全施設の要望については、各道路管理者に引継ぎをします。

普段利用している道路において、特に施設が老朽化している場合は随時、市危機管理部へ要望しますので自治振興センターまでご報告ください。また、交通安全施設整備事業については、まちづくり委員会の定期総会で自治会長さんへご説明します。要望は、自治会単位でお取りまとめいただくように検討しています。

令和4年度 緑の募金運動について

—標語 植えようみどり めざせカーボンニュートラル—

緑の募金は、私たちの生活にとって大切な緑の環境を作り出し、地球温暖化防止につながる活動を支援していくための運動として重要な事業です。皆様からいただいた募金を活用し、緑化苗木頒布やみどりの少年団への支援にも活用されています。皆様のご協力をお願いします。

1. 募金の目標額 1戸200円程度
2. 募金運動実施期間 4月12日(火曜日)～5月31日(火曜日)
3. 収納場所 南信濃自治振興センター窓口

信州遠山郷 交流拠点&移住定住情報の発信基地

ゲストハウス“太陽堂”だより



～春の訪れと御柱祭り～

こんにちは、水戸です。先月号で氷瀑のことを書いたのがウソのように暖かい春の日を満喫しています。先日は太陽堂前で今年初のツバメの姿を確認しました。春ですね。

そんな春の訪れとともにやってきたのが、私自身は初体験となる御柱祭り。縄ない、山出し、その他の準備や飾りつけの段階から、ほかのお祭りとは一味違う人々の気合いをひしひしと感じていました。

そして迎えた大祭当日。人々の願いむなしく天候は決して良いとは言えない状況。それでもそんなことを感じさせない人々の熱気に、私の心も熱くなりました。山出しの時から思っていたことですが、到底人の力で曳くことができるとは思えない巨木が、みんなの力を合わせると曳ける。「みんなで力を合わせる」というこのよく聞くフレーズをこんなに体感できるお祭りは他にはないと思います。改めてこの土地の一員になれたことを誇りに思う一日でした。皆様、お疲れさまでした。本当に素敵な一日をありがとうございました！

この通信の前半にもあるように、このタイミングで遠山郷には新たな仲間がたくさん増えました。高齢化と人口減少で7年後の御柱祭りのことに不安も覚えることがありますが、次回は新しい仲間がもっと増えた状態で御柱祭りを楽しむことができるのではないかと期待に胸膨らんでいます。さて、私自身も7年後パワーアップできているように頑張ります！



(左上) 大盛り上がりだったヨイヨイステージ

(左下) 御柱大祭当日 (右) 大祭翌日の堂々たる御柱